

介護老人保健施設ナーシングホーム和光 自己評価

評価年月日 令和4年4月1日

項目名	設問	評価	事業所からのコメント
入退所	1	○	施設概要を記載したパンフレットや案内書が用意され、希望に応じて施設見学が自由に出来ますか。
	2	○	利用にあたり、利用者及び家族に対して、利用方法・施設の状況・サービス内容・利用料金等の重要事項について必ず説明を行い、文書による同意を得ていますか。
	3	○	施設の都合で容易に退所を促すことなく、利用者や家族が納得できる説明を行っていますか。また、退所先等へ利用者の状態に関する情報提供が適切に行われていますか。
	4	○	退所者や地域住民の緊急入所に対応できますか。
	5	○	利用料の支払いや年金の受取、金銭の管理方法等の説明が行われていますか。
介護原則	1	○	身体拘束は行っていません。また、やむを得ない理由により拘束や抑制を行う場合、手続きを経て行われていますか。
	2	○	利用者に対して、定期的にADLチェックを行い、残存機能を活かす対応をしていますか。
	3	○	言動障害の原因やパターン、危険性を職員が理解したうえで観察と分析を行い、その分析と適切な対応に取り組んでいますか。
	4	○	利用者の特性に配慮しながら、日中の活動的なプログラムを用意し、生活のリズムが得られるようにしていますか。
	5	△	利用者や家族に対して、生活援助全般にわたる意見、評価、要望等についてのアンケート調査等を実施していますか。
運営	1	○	利用者、家族の意見や要望は運営に反映されていますか。
	2	○	面会時間、嗜好品や衣類の持ち込みなどで生活上の制限や規制を減らす努力をしていますか。
	3	○	利用者が自由に利用できる新聞や雑誌を、施設として数種類以上用意していますか。
	4	○	部署の責任者が表示され、職員名が利用者及び外来者に分かり易くなっていますか。
	5	○	利用者間のトラブルや悩み等についての相談窓口、施設や職員に対する苦情窓口がありますか。
ケアプラン	1	○	ケアプランは利用者及び家族の意見や希望を取り入れ、十分な説明を行い、文書による同意を受けていますか。
	2	○	ケアプラン作成後もケアカンファレンスを定期的に開催し、必要に応じてプランの変更を行っていますか。
	3	○	ケア実施記録は処遇向上等に繋がるよう適切に記入され、活用されていますか。
	4	○	管理者等はケース記録を常に確認し、職員に必要な対応を指示していますか。
施設	1	○	施設は清潔に維持管理されていますか。
	2	○	施設全体が生活の場に相応しい雰囲気を持ち、利用者の快適性に配慮されていますか。
	3	○	利用者のニーズに応じるため、個室・二人部屋が用意されていますか。
	4	○	機能訓練室は十分な広さと必要な器械・器具が備えられていますか。
	5	○	家族が宿泊利用できる部屋がありますか。
	1	○	食堂付近に手洗いと口腔ケアをする設備がありますか。
	2	○	居室、トイレ等必要な場所にナースコールが設置されていますか。

介護老人保健施設ナーシングホーム和光 自己評価

評価年月日 令和4年4月1日

項目名	設問	評価	事業所からのコメント
設備・備品	3	○	棚、ロッカーダンス、キャスター付き床頭台等を用意しています。
	4	○	手すり・スロープの両方とも設置されています。
	5	○	エアーマット、無圧マット、体位交換マット等を用意し、必要なご利用者に適切に使用できるように管理しています。また、平成28年度からは褥瘡者にマットを更新し全室対応しています。
	6	○	すべて、3モーターベッド、低床ベッドとなっています。
職員	1	○	各サービスステーションに施設の理念・方針を掲示しています。また、職員に周知徹底するために、毎年策定される経営理念及び運営方針を載せた事業計画書を各職員に配布し、説明を行っています。
	2	○	入職時には新人研修を実施し、その後1年間プリセプターシップによりOJTを行っています。また、職員個々の能力に合わせた内部研修・外部研修等で教育を行っています。
	3	○	組織規程、管理及び運営規程で明確化しています。
	4	○	職員の教育に力を入れ実践しています。
	5	○	事業計画で具体化させ、内部研修・経営会議等で職員への浸透を図る努力をしています。
	6	○	適正に運用されています。
	7	○	4月に新人職員研修を実施しています。又、入職後1年間はプリセプターシップによりOJTを実施し、1ヵ月毎に本人・プリセプター・主任で会議を行い業務・技術の習得状況などの見直しを行っています。
	8	○	年間研修計画に基づき、新型コロナウイルス感染予防に留意し研修・勉強会を行っています。
	9	○	職員個々に適した外部の研修に参加し、内部で伝達研修を実施しています。また、新型コロナウイルス感染のため外部研修中止が相次ぎましたが、ZOOMを利用した研修に参加しました。
	10	○	専門資格を取得する為の受験費用及び事前研修費用を施設が負担し、資格取得を促しています。
食事	1	○	①温冷配膳車を使用し、温かい物は温かく、冷たい物は冷たいままで食事を提供しています。②給食委託会社と協力し、月1回実施できる体制を整えています。③見た目の良さ、質感、使い心地などを考慮し食器を選定しています。
	2	△	感染流行のため実施していません。ご利用者個々から要望等を聞き取りしています。
	3	○	食事時間帯は音楽を流すなど、雰囲気づくりを行っています。ご利用者個々に適した高さのテーブルを使用し、環境に配慮しています。
	4	○	季節に応じたメニュー及びイベントメニューを提供しています。又、選択食やおやつバイキングを毎月実施しています。
	5	○	必要に応じて介護食器にて食事を提供し、ご利用者ご自身のペースで食事をしていただけよう配慮しています。
	6	○	治療食等を提供できる体制があります。また、個々の口腔や嚥下状態に適した食形態で提供しています。
入浴	1	○	暖簾・カーテン・スクリーンを活用しプライバシー保護に努めています。
	2	○	ご利用者の身体状況を把握し、状況に応じた入浴方法でサービスを提供しています。
	3	○	一般浴(大型浴槽)、中間浴(座位浴槽)、機械浴(臥位リフト付き浴槽)を設置しています。
	4	○	看護師が浴室にて観察し、状態に応じて対応しています。感染症マニュアルに基づいて対応しています。
排泄	1	○	プライバシーへの配慮を職員に周知し、プライバシー保護に努めています。
	2	○	①定時交換以外にも、排泄状況に応じた交換を実施しています。②多様な種類の紙おむつ・パットを用意し個々の状態に応じて対応しています。③積極的なトイレ誘導を行い、オムツ外しへの取り組みを行っています。

介護老人保健施設ナーシングホーム和光 自己評価

評価年月日 令和4年4月1日

項目名		設問	評価	事業所からのコメント
排泄	3	排泄に関する介助方法や時間、環境、用具等の検討会が行われ、介助に生かされていますか。	○	排泄検討委員会を設置し、介助に活かしています。
	4	排泄記録を作成し、健康管理等に活用されていますか。またオムツ交換時には皮膚の観察を行い、褥瘡予防に努めていますか。	○	排泄毎に記録入力を行い、健康管理に活用しています。排泄時や入浴時に皮膚の観察を行い、異常の早期発見に努めています。又、皮膚トラブルがあった際には看護師へ報告するとともに、多職種で検討し各分野からのアプローチのもと褥瘡ケアプランを作成・回覧し改善に努めています。
	5	交換後のオムツを適切な方法で速やかに処理していますか。	○	居室の臭気対策としてオゾンシステムを採用。オムツ交換ごとに窓を開け換気を行っています。また、ポータブルトイレには消臭剤を使用し臭気に配慮しています。使用済みのオムツは速やかに専用の冷蔵保管庫へ片付けています。
寝たきり防止	1	一日の総臥床時間を減少する為、施設全体として離床を進めていますか。	○	日課に沿って離床し、レクリエーションやクラブ活動などに参加していただき、感染予防に留意し、日中有意義に過ごしていただけるよう支援しています。
	2	日中は寝間着から日常着への着替えを行っていますか。	○	体調の悪い方でベッド上安静が必要な方を除いては、日常着へ着替えをしています。
自立支援	1	日常生活動作のすべてに手を貸すのではなく、利用者が可能な限り自分で取り組むように配慮していますか。	○	アセスメントにより課題を明確にし、チームケアのもと自立支援を進めています。
	2	利用者の自立した生活に必要な器具が施設に用意されていますか。	○	様々な状態に対応できるように、手すり・P柵・各種歩行者・車椅子などの福祉用具や、多種多様な自助具を用意しています。
	3	リハビリテーションを訓練室のみならず生活に役立つ視点で指導していますか。	○	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導により、生活行為向上に向けたメニューで多職種での訓練を実施しています。
	4	四季感の演出、生活の活性化のためイベントを実施していますか。	○	毎月、季節感のある行事を実施しています。また専任の係が主体となって、生活の活性化に努めています。
外出援助	1	外出・外泊の機会を多く持ってもらおう家族等に働きかけをしていますか。	△	感染予防のため外出・外泊は中止させていただいています。
	2	1人で外出することが困難な利用者に対して、希望を聞き計画的に外出の機会を確保していますか。	△	感染予防のため外出・外泊は中止させていただいています。
	3	外出による買い物や飲食店の利用等の機会を定期的に設けていますか。	△	感染予防のため外出・外泊は中止させていただいています。
会話	1	利用者の尊厳やプライドが保たれるよう幼児語の使用や指示的口調に注意がなされ、そのための検討を行っていますか。	○	内部研修や言葉遣いマニュアルの活用により実施できています。
	2	受容、傾聴の態度でゆっくり話しかけたり、相手が理解できる手段を使ってコミュニケーションを取っていますか。	○	話すスピードやトーンに留意し、また必要があれば筆談やジェスチャーでコミュニケーションをとっています。
	3	日常会話が不足している利用者へ気を配り、言葉かけや会話に耳を傾けるよう配慮していますか。	○	日常的に声かけや会話の機会を多く持つとともに、必要な方にはケアプランに組み込み、コミュニケーションを増やすためのケアを実施しています。
	4	利用者同士の会話やコミュニケーションが楽しめる環境が用意され、新しい利用者がスムーズに溶け込めるよう配慮していますか。	○	体操やレクリエーション活動の中で、ご利用者同士を結び付けられるよう職員が働きかけています。
レクリエーション	1	レクリエーション等のプログラムは利用者が参加しやすいように計画され、実施されていますか。	○	体操等感染予防に留意しレクリエーションを実施しています。
	2	クラブ活動は、趣味や娯楽などを活かした小グループで行われ、継続性のあるクラブ活動から単発的なレクリエーションまで利用者の特性に配慮したメニューが用意してありますか。	○	状態に応じてグループ分けし小グループでのレクリエーションを実施しています。
	3	各種行事に家族やボランティア、地域住民も参加できるように配慮し、参加の呼びかけをしていますか。	△	感染予防のため中止させていただいています。
整容	1	利用者個人の好みに応じた髪型や服装に配慮していますか。	○	左記の通り実施しています。
	2	日中の起床時、夜間の就寝時、季節等にふさわしい衣服への着替えが実施されていますか。	○	左記の通り実施しています。
健康管理・身体ケア	1	感染症(MRSA・疥癬・インフルエンザ等)に対する対策は適切に行われていますか。	○	感染症委員会を中心にスタンダードプリコーションの徹底と、感染者が発生した場合に備えた研修を全職員に行っています。
	2	利用者に対する口腔ケアは適切に行われていますか。	○	毎食後、義歯を含む口腔ケアをご利用者の全員に対して実施しています。口腔内トラブルに対しては訪問歯科医による診察を行い、医師の指示の元ケアを実施しています。
	3	ターミナルケアの検討はなされていますか。また、家族との連携が密にとれるようにしていますか。	○	各職種が参加する看取り委員会を開催し、看取り介護の体制を整えています。状態の変化をごまめにご家族へお伝えし連携を図っています。
	4	常に利用者の健康状況に注意し、家族等に健康状態を分かり易く説明していますか。	○	状態に変化があった場合は医師・看護師又は相談員によりご家族に説明しています。
	5	褥瘡予防対策が関係職員に周知徹底され、発生防止、治療に努めていますか。	○	ご利用者のADLや疾患によるリスク・検査データなどを把握し、適切な寝具・クッションの選択や、臥床時・座位時の姿勢の適正化に努めています。また、発生の際は、褥瘡対策チームにて定期的に対策を検討し、多職種で早期治癒を目指しています。

介護老人保健施設ナーシングホーム和光 自己評価

評価年月日 令和4年4月1日

項目名	設問	評価	事業所からのコメント
ア	6	○	服薬管理は、薬剤師・看護師が行っています。誤薬のないようマニュアルに沿って細心の注意を払っています。指示の変更は、医師より本人・家族へ説明し、その内容は看護師が確認、記録し、変更に伴う注意事項は全職員へ説明しています。自己管理時は薬剤師より指導しています。
	7	○	定期的な爪切りを行い、漏れの無いようにチェック体制も設けています。
	8	○	医師の指示のもと状態に応じた対応や処方対応を行うとともに、認知症介護リーダー研修・実践者研修終了者を中心に中核症状や周辺症状に対するチームケアを行っています。
協力医療機関	1	○	左記の通り実施しています。
	2	○	入院に関して、利用者や家族に説明し同意を得ています。
自己評価	1	○	年1回実施し、開示できるようにしています。
	2	○	ホームページに公開しています。
家族	1	○	状況変化時には医師・看護師・相談員より説明を行っています。又、ケアプランに変更が生じた際にもその都度説明を行っています。
	2	○	各専門職で退所時指導を行うとともに、退所前家庭訪問を行い問題点を明確にし、ご家族・包括・ケアマネジャー・サービス事業所との連携を図っています。
	3	○	明細の入った請求書を送付しています。
	4	○	ご家族からの相談は相談員が応じ、どのような相談内容にも応える努力をしています。
権利擁護	1	○	必要と思われるご利用者の家族には権利擁護事業の説明を行っています。また適宜、市役所・包括の担当者に来所してもらい、ご本人・家族と共に相談する機会を設けています。
	2	○	個人情報保護管理規程により管理を行っています。
	3	○	個人情報の利用目的を明記した文書があり、プライバシーの保護には最大限の配慮をしています。
連携	1	○	左記の通り行っています。
	2	△	感染予防のため中止しています。
	3	○	感染予防のため施設内の活動は中止し、手作りマスク作成等に協力いただいています。
	4	○	ボランティア団体、社会福祉協議会より情報を得ています。
情報開示	1	○	情報公開規程により開示しています。
	2	○	財務諸表をホームページにて公開。事業報告は求めがあればいつでも公開できるようにしてあります。
事故・防災	1	○	消防委員を配置し、マニュアルに基づいて毎月防災訓練を実施しています。
	2	○	リスク管理委員会を設置し毎月委員会・分科会で検討を行っています。リスクマネージャーの資格取得者を中心にリスク管理に取り組んでいます。
	3	○	民間の保険契約に加入し、迅速な事故処理を行える体制があります。
	4	○	ヒヤリハット・ヒヤリかもの報告書を作成し、それに基づきフロアー会議やリスク管理委員会でもケース検討の場を設けており、フィードバックが効いた体制が取れています。